

## 第237号

発行日：2019年6月1日

発行人：神立秀明

〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3

TEL 代表(025)264-5000

FAX(025)261-4430

在宅ケアセンターゆうばえ内



## 夕映えの会

## 住民の声

地域でささえあう

## 新川に想いを寄せて

## 水辺と親しむネットワーク



越後新川まちおこしの会

事務局長

小泉 勇

(内野山手2)

昭和の30年代までは、新川で釣った魚を食べたり子どもが川で泳いだりする様子をみることができたと聞きました。当会は「泳いだ、食べた、新川にしたい」と願った故丸山幸平事務局長のもと、平成19年に立ち上げられました。

私は当会2代目の事務局長です。亀田に生まれ、新潟大学農学部で「土壌・土質」を学びました。園芸・畜産では、「休みがない」(笑)と決断、卒業後も地質調査会社に就職しました。

翌年が新潟地震、鉄筋コンクリートの建物がそのまま倒れたり液状化現象が国内外の注目を集めました。地盤・地質調査についての需要が一気に高まった時代でした。定年まで働き、今は各種のボランティア活動

をライフワークとして、楽しく過ごしています。

昨年、県道近くにスーパーが開店して内野町の雰囲気少し変わってきたかなという感想を持っていました。スーパー建設工事の際、幕末時代の、新川の底樋の柱の一部が見つかったという嬉しい事件がありました。ここには、日本子ども福祉専門学校が作られる前、地元の人たちが「農林省」と呼んでいた建物がありました。

「北陸農政局 新川農業水利事業所」は昭和22年、主に西蒲原の排水改良のため、西川水路橋の改造、新川右岸排水機場ほか6か所のポンプ場の造成を業務として遂行し、昭和47年、新川河口排水機場の竣工などを経て昭和55年3月閉鎖されました。

昭和31年、現在の上皇である皇太子明仁殿下が北陸巡遊の際、新川と西川の立体交差に立ち寄られました。その後皇太子のご成婚を記念して中野小屋村長等により記念碑が建立されました。しかし新川農業水利事業所の閉鎖に伴って、碑は新川河口に移設されていました。

新川開削200年を迎えるにあたって、当会の有志より元の場所に戻したらと提案がありました。去る5月25日、スーパーウオロク裏(水路橋の直下流地点)に半世紀振りに記念碑が戻る、(仮称)新川ミニ公園石碑除幕式が行われました。

高山の新川右岸排水機場には平成

26年、新川の開削に私財を投げ打った中野小屋村の伊藤五郎左衛門の公園ができました。(仮称)新川ミニ公園ともども、是非「見学下さい」。

越後新川まちおこしの会は、現在会員100名ほど。各月の例会を基本に、機関紙「新川通信」を年1回発行し、会員の親睦と会の活動を紹介しております。

内野中学校生徒による「新川水系一斉清掃活動」や、ふるさとを学ぶin内野中学校での講演会や・新川三川(新川・西川・広通川)リバーサイドウォークなど、新川を仲立ちにした地域のネットワークづくりに忙しい毎日です。

さてかつては魚類の宝庫と云われた新川は、今はどうか?平成27年7月、農林省橋から西川水路橋、200mの間で新川に生息する魚類調査が県の許可を得て行われました。その結果8種類を確認しました。捕獲後殺処分した外来種のバスもいました。汽水域に棲むスズキ・ハゼが確認され、新川が徐々に蘇りつつあると実感いたしました。課題は山積んでいます。

町おこしなどは身に余る課題ですが、良く考えればそこに暮らす住民が主体者。地域と行政が一体となった水辺のネットワークづくりは、ほかならぬふるさとネットワークづくりと考えます。

# 夕映えの会 第27回総会開催

## 5月11日 西コミセンにて



夕映えの会  
神立秀明会長

夕映えの会の定期総会が5月11日に西コミセンで開催されました。今年の総会は27回目、発足総会は1993年1月です。

主催者として挨拶に立った神立秀明会長は27年を振り返りながら、大きく増えると言われている認知症高齢者が住みやすい町づくりを今後の課題としたいと述べました。

来賓として社会福祉法人ゆうえい会久住一男理事長、西内野コミュニティ協議会倉林正喜会長から祝辞をいただきました。内野・西内野地域で長期に福祉のまちづくり運動をすすめてきた会の存在意義を再確認するとともに、地域の各団体が連携し合った町づくりが重要と思われました。総会に先立って「認知症の人と家族の会新潟県支部副代表」等々力務さんから「認知症の人と家族が暮らしやすいまちづくりをす



認知症の人と家族の会  
等々力務副代表

めましよう」と題して講演が行われました。

「認知症を患っている」と公表すること、このことを地域が優しくさりげなく受け入れられる地域づくりが大事と強調されました。

「明日は我が身」、認知症の切実な問題についての事例紹介に、総会参加者は皆熱心に聞き入りました。



ゆうえい  
会職員の松井さんから5月1日にオープンしたグループホームゆうえいについてのお話を頂きました。

議事ではこの1年のふり返り、決算・監査報告が承認され、これから1年間の活動方針を確認しました。そして2019年度の世話人として25名の方が紹介され承認されました。

### 「健やガシニッ」してます！

第62回

健康な歯で、

食べる楽しみをいつまでも！

ひかり歯科医院 院長 子田光枝 (五十嵐2の町)



群馬県で生れた私は埼玉県・浦和のとある女子高校で数学の教師をしていました。当時はま

だハッキリとは見えていませんでしたが、教育の世界は意外と男社会なのだと思っていました。主人と知り合い、結婚して嫁いだ家は内野中学校の近くでした。

子育てをしている時、私はふと「学び直したいな」と考えるようになりました。塾や家庭教師をしている時、私が教えている子どもたちがどんどん日々大きく変わっていく様を見るにつけ、その願望はもはや抑えがたいものになりました。

では何を学ぶのか、私は男性ともきちん対峙できる医学の道を選びました。「大人の世迷いごと」と云われるのは本意でしただけ、受験勉強の期限は1年間のみと決めました。下の子を幼稚園に送り出すと、私の勉強が始まりました。夜は家族の生活に支障が出ない範囲でめいっばい勉強。晴れて歯学部に入学したのは35歳の時でした。

2度目の大学生活は何もかもが新鮮で、最先端の医学を学んでいることに不思議なほど充実感を憶えたものでした。6年間の大学生活と研修医を経て、開業したのは44歳の時でした。何故五十嵐2の町なのかとよく聞かれますが、元々は二世帯住宅を考えていた中古物件。大工さんと相談したら、「お座敷をリフォームして診察室にしましょう」となった次第です。(笑)

出遅れて歯科医になった私ですが開業して20年、医師となつて本当に良かったと実感しています。大学で学んでいた時は厚生労働省の「八〇二〇」の指針が出たばかりの頃でした。「80歳で自分の歯が20本？」医師を志す者でも首を傾げた時代でした。しかし医学も進歩し、人々の意識も大きく変わって「八〇二〇」は今では現実的な目標となつてきています。予防歯科は目覚ましく進歩を遂げています。「痛くなったらの歯医者」ではなく、お口と歯の定期検診は健康やかな老後の保証です。歯科医を上手に使ってください。美味しく食事をいただくためのケアをお忘れなく。(笑)



# ☆シリーズ☆ 認知症予防と まちづくり

坂井輪診療所長 安達 哲夫

## 第10回 『血縁より結縁 結び合うまちづくり』

—地域包括ケアシステムを作り上げるために—

昨年8月から連載させていただいたシリーズ「認知症予防とまちづくり」もいよいよ今回が最終回です。私はこの連載で誰もがかかる可能性のある認知症について、基本的な特徴を説明してきました。

「忘れる」「新しいことが憶えられない」「記憶の質」など、認知症を理解する上でのいくつかのキーワードをお話しました。またひと口に認知症といっても多種多様なものがあることもお話しました。

しかしながら身体の一部であるヒトの脳の劣化が原因である以上、予防もまた可能であることも重要な視点であると考えます。このシリーズで強調した点はそこにあります。

認知症を生活習慣病の一部として、生活習慣の改善の側面から新たに見直す動きは世界的にも始まっていることをご説明いたしました。「塩分を減らしたパン」で著しい成果を上げた英国の取り組みをはじめ欧米の取り組みは、わが国の取り組みの一步先んじているようです。しかし、お隣の芝生を羨ましがってばかりいても何も変わりませんね。

まずは医療と介護の連携です。できる所から本気の連携を作り上げていかなければなりません。脳の疾患である認知症患者さんが他の病気を併発した場合、多くの医療機関が受入れに難色を示す

というのが、残念ながら現状であることも指摘しておきました。

一方介護施設では、ショートステイ利用者の医療依存度が高いにもかかわらず、医療の手が入りにくい状況であることをお話し、改善のための取り組みの端緒ですが紹介いたしました。

まだまだ認知症患者さんを身体疾患も含めて医療が引き受けることができるには多くのハードルがあります。そのために「にしく赤・坂ネット」の中に「認知症小委員会」を結成し、さまざまな課題の解決に動き始めました。しかしなによりも大切なことは、軽症うちに認知症の治療を開始し、BPSDも軽度のうちに発見し対応する、このことなしにはどんな治療も後手後手にまわります。

そのためには、地域住民のみなさんの協力が何より重要です。65歳以上の住民の15%が認知症であると仮定すると、西区には7,000人の認知症患者さんがいることになります。認知症は「脳の生活習慣病」であり、だれにでも起こりうることです。ご近所に高齢者世帯、大家族であったとしても、「ひとりぼっち」の高齢者はいないか？目配り、気配りをして、声を掛け合ってほしい。介護保険を利用するほどでなくても、困っていることがあれば支え合ってほしい、家族による介護力が弱まっている時代には、なによりも「血縁」よりも「結縁」が大切です。

いつかは自分にも訪れる道です。ご近所に温かい目を向けてほしい、そして何か気づくことがあったなら、いつでも包括支援センターに声をかけてほしいと思います。歳をとっても、認知症になっても、安心して住み慣れた地域で暮らしていただけるように、みんなで協力してまちづくりを進めていきましょう。



〈作り方〉

- ①豆腐はしっかりと水きりをする。
- ②白ごまをすり鉢で半すりにし、豆腐とAを加えてなめらかになるまですり混ぜる。
- ③油揚げは湯抜きした後、水気をきり、鍋にBと油揚げを入れ、煮立ったら火を弱めて煮含ませる。
- ④油揚げの汁気をしっかりときり、
- ⑤とともに和えて完成。



〈2人分〉

- ・木綿豆腐 1/2丁
- ・白ごま 大さじ1
- ・砂糖 大さじ1
- ・醤油 小さじ1強
- ・枝豆(塩茹) 50g
- ・油揚げ 1/2枚

3cm四方一枚  
小さじ21/2  
1/2カップ

「枝豆と油揚げの白和え」  
枝豆はこれから旬。塩茹でが定番ですが、ごまを加えることで深みのある味になります。いろいろな食べ方を工夫してみてください。



ゆうえい会  
管理栄養士  
大屋 綾佳

田村さんの  
ご飯ですよ！



# 新しいサービス『えんでこ』

## 6月1日 オープン!



「えんでこ」は歩いて行こうとの新潟弁。一緒にえんでこっ!と職員の投票で決めました!

デイサービス利用者がサービス利用中に有償ボランティア活動に参加できるという通達が平成30年7月厚生労働省から出されました。そこで既存の「デイサービスセンターゆうばえ」で犬のおやつ作りに挑戦しました。この活動ではデイサービスとしての利益は取らず、利益はすべて参加利用者に「給与」として現金を支給します。

「えんでこ」はこのような活動に特化して行うサービスです。利用者様と職員の社会参加を促進する新しい取り組みです。わんこのおやつ作りのほか、盆花の販売、洗車、草取り等を計画しています。ぜひ皆様の家庭の草取りを、「えんでこ」にご用命下さい。「えんでこ」の理念は「あなたと一緒にあなたのやりたいことを発見します。あなたと一緒にあなたのやりたいことを支援します。あなたと共にあなたの大切な人を幸せにします」です。職員一同、地域の皆様に愛される「えんでこ」になれるよう精進してまいります。

### 職員募集

デイサービス職員  
ヘルパー職員 若干名  
募集しています。



TEL 264-5000  
吉田までお気軽にお問い合わせ下さい。

### 今月の投稿者

五十嵐中島三丁目

茜峯様

困る事何かあるかと聞かれても

たくさんあつて答えに困る

花が散り葉桜となる公園の

青葉若葉のみどりさわやか

風薫る五月の空は晴れわたたり

デイの往来に花をたのしむ

### ゆうばえ歌壇

### 編集後記

眩しいばかりの若葉輝く季節の到来です。中々仕事が付かず息抜きができませんが、やりたいことはたくさんあります。元気なうちに弥彦山、角田山の縦走です。この頃の山は、匂い立つ緑が何と言っても魅力です。茜峯さん、おっしゃる通り「みどりさわやか」な山の様です。歩いている時に、声良しのウグイス嬢がひと鳴きしてくれたら最高です。／いちにちのつかれ仰げば若葉した、りぬ種

田山頭火  
(M記)

### 連絡先一覧

ゆうえい会配食事業部  
☎ 070-4453-5228  
(担当: 小島明日枝)

夕映えの会生活支援  
☎ 070-4314-3980  
(担当: 神立秀明)



### 「えんでこ」のスタートにご寄付をお願いします

マンガ単行本 (各種・少年少女向け)  
オセロゲーム・将棋など一式  
圧力鍋 (電磁調理器用)  
花用プランター